

月刊 アカサス ニュース

第45号 2000(平成12年).4

「アカサス」とは、古代ギリシャ・ローマに由来し、金沢大学の校章にも使われている植物の名称(和名「ハアザミ」)です。

祝 卒業・修了 2,485人が巣立つ

トップニュース Top News



林勇二郎学長から学位記を授与される卒業生総代
= 3月22日, 金沢市観光会館(金沢市本多町)で



答辞を述べる卒業生総代
= 同上

3月22日, “金沢大学第48回学位記・修了証書授与式”が行われ, 8学部計1,893人と大学院修了554人, 専攻科3人, 別科計35人, 計2,485人が, 新しい世界への一步を踏み出した。

式では, 林勇二郎学長が「21世紀に活躍する諸君には, 個性的な能力を継続的に持ち続けることを期待します。卒業した後も好んで学び, 楽しんで学ぶことを続け, 新たな個性を追い求めてほしい」と励ました。

附属学校園でも卒業・修了式

教育学部附属学校園でも, 卒業式, 修了式が行われた。卒業生は小学校112人, 中学校150人, 高等学校123人, 養護学校15人, 修了生は幼稚園57人。



諸岡康哉園長から修了証書を受け取る園児
= 3月10日, 教育学部附属幼稚園で





巻頭言

新しい「教育方法」の開発



工学部長
畑 朋延

大学教官の多くは教育はさておき研究をすること、研究論文を書くことによりかなりのエネルギーを注がざるを得ない状況になっています。確かに科学研究費や大型プロジェクトの申請には欠くことが出来ないデータでもあるからです。いい研究をすることはいい教育をすることと思いがちでしたが、必ずしもそうではないようです。大学の教官は教育とは何ぞやとか、この課題を教えるにはどのような教授法が最適であるか、は殆ど考えずおおむね昔自分が学生時代に学んだ講義を思い出し、20年前と同様なことをやりがちです。以前と同じ講義をしているのに学生にはなかなか分かって貰えず、どうしてだろうと自問自答して苦しんでいる先生方も多いと思います。

最近、グローバル化に伴って理工系学部教育の評価・認定を伴う日本技術者認定機構(JABEE)の設立や大学審議会答申で「工

学教育」を巡る新しい変革の波が押し寄せてきています。今後は創造性を最大限に発揮して世界のフロントランナーとして未知の世界に挑戦しなければなりません。だから創造性を養う教育をしてください。授業を設計しシラバスはしっかり書いてください。学生から授業評価をして貰いなさい。学生に対する評価はoutputではなくoutcomeですよなど教育につけられる注文は多い。

教育は文系、理系によらず基本的な共通基盤があるはずだし、時代と共に内容も教え方も変えて行くべきでしょう。教育方法を変えられなかった我々が間違っていたのかも知れません。教育の得意な人が少ないことを考えると、学部・学科のアイデンティティを全スタッフの協力で効率よく学生に教えるためのファカルティ・ディベロップメント(FD)は他人から言われるまでもなく確立する必要があると思います。

中村厚生事務局長
退任あいさつ

3月31日付けで退職の中村厚生事務局長が、3月30日、事務局大会議室で退任のあいさつを行った。



関連の写真もう二枚を裏表紙にカラーで紹介





工学部 「教育方法改善(FD)シンポジウム」を開催

工学部教育方法改善(FD)シンポジウムが、3月16日、17日の両日にわたって開催され、教育方法改善のための方策とフィードバック型教育効果の評価システムについて、熱心に議論を深めた。



研究発表の様様
= 3月16日午後、小松市内の宿泊施設で

退職者に 永年勤続表彰を授与

平成11年度末に退職する教職員の“永年勤続者表彰式”が3月28日行われ、35人が出席した。

式では、林勇二郎学長から表彰状と記念品が贈られた。続いて行われた懇談会では、在職中の思い出話などが懐かしく話し合われた。



表彰状を受け取る中村厚生事務局長
= 3月28日、事務局大会議室で

「第3回日本海域国際フォーラム in 金沢」を開催

3月29日、工学部秀峯会館で、金沢大学日本海域研究所(所長:林勇二郎学長)などが主催となって、第3回目となる“日本海域国際フォーラムin金沢”が開催された。

今回は第3回目となり、前回同様、韓国・中国・ロシア・日本といった日本海を囲む国々の研究者が、研究成果を発表した。英語を交えた発表もあり、国際的なフォーラムとなった。



開会のあいさつする林勇二郎学長
= 3月29日、工学部秀峯会館で



薬学部 “ 薬剤師生涯教育リフレッシュフォーラム ” を開く



最新の薬学的研究について意見を交わすパネリスト
= 3月12日、医学部十全講堂で

3月12日、薬学部主催の公開シンポジウム「医薬品の適正使用と21世紀の薬剤師」が行われ、北陸3県の薬剤師、学内外の教官、学生等約200人が参加した。

フォーラムでは、同学部で行われている薬剤師業務に関連した最新の薬学的研究の一端が、辻彰、横山毅、米田幸雄の各教授から明快に紹介された。

続いて臨床の立場から、名郷直樹医師(愛知県作手村国民健康保険診療所長)と井上忠夫薬剤師(聖路加国際病院薬剤部長)が、豊富な実体験を踏まえて、説得力に満ちた講演を行った。

自然科学研究科 生命科学専攻主催 初の学術講演会を開催

3月9日、自然科学研究科生命科学専攻は、「第1回金沢大学大学院自然科学研究科生命科学専攻学術講演会」を薬学部講座で開催し、会場は一般参加者を含む約80人の聴衆で埋められた。

講演会では、5人の同専攻担当教官により、最近の研究成果が紹介され、活発な質疑応答が行われた。

なお、次回からは、広範囲な広報活動を行う予定。



活発な質疑応答が行われた講演会
= 3月9日、薬学部講座で

和気あいあいと本音でトーク —— 文部省職員と交流

3月1日、文部省の職員が本学を訪れたことを機に、本学事務局・学生部の若手職員らと語り合う会が催され、終始ざっくばらんで、笑みのこぼれる楽しい懇談会となった。



ときおり笑みもこぼれた懇談会
= 3月1日、特別会議室で

外国人留学生に関する交流を促進

平成10年度に創設された文部省「留学生交流モデル地域推進事業」の一環として、廣瀬幸雄学生部長と(財)石川県国際交流協会は、このほど、本学の交流協定締結校であるナンシー第一大学(フランス)、ダブリンシティ大学(アイルランド)において、帰国した外国人留学生との交流を促進する「石川県第二の故郷プログラム支援」やパンフレット「石川県所在大学入学案内」をもとにした留学生の募集、更に研究者交流等、今後の具体的な懇談を行った。



懇談する廣瀬学生部長
= 2月15日、ナンシー第一大学長室で





産学の日交流会(3月9日)に 研究室巡りで交流を深める!

昨年,(財)石川県鉄工機電協会と金沢大学の若手教官ではじめた「産学の日交流会」の第2回が3月9日に金沢大学工学部で行われた。今回は、前回の“お見合い”から一歩進めて、教官実験研究室を巡って自由に意見交換する“共同研究や課題解決のきっかけづくりの場”が、もたれた。産学学計25人ももの参加を得て行った交流会は、企業と大学のパートナー連携を目指す上で、大変意義のあるものとなった。



教官の熱心な説明に耳を傾ける参加者たち
=3月9日,工学部教官の実験研究室で

「第19回放射性同位元素 研究連絡会」を開く

放射性同位元素委員会とアイソトープ総合センターは、3月10日、「第19回放射性同位元素研究連絡会」を開催し、約60人の参加があった。

シンポジウム1「ジーンハンティング」では、本学における遺伝子研究の精鋭6人により、最新の研究成果について発表が行われ、続くシンポジウム2「環境放射能・放射線」では話題の“東海村臨界事故”と“旧ソ連核実験場”の環境放射能・放射線について発表があり、この分野における本学の研究レベルの高さが再認識された。



研究発表の様相
=3月10日,アイソトープ総合センターで

留学生入国在留審査方針の 情報交換会を開催

3月8日,文部省通知「今後の留学生及び就学生の入国在留審査方針」に基づき,名古屋入国管理局留学生審査担当官と北陸三県の高等教育機関総括留学生担当者(39人)との情報交換会が開催された。同会では,外国人留学生の入国・在留申請の簡素化に伴う在留資格認定証明書交付申請及び在留期間更新許可申請等の手続提出書類の具体的な取扱いについて,活発な質疑応答が行われた。



「今後の留学生及び就学生の入国在留審査方針」について説明する初木邦夫総括審査官(名古屋入国管理局留学・研修審査部門)
=3月8日,教育学部201講義室で

本学へのお客さま(3月)



中国社会科学院外事局副局長(右から2人目)
=3月10日,学長室で



スルタン・カブス大学(オマーン)学長(右)
=3月24日,学長室で



平成11年度体育系サークルリーダー研修会の開催について

3月9日、学生部は、金沢大学学生会館大集会室において、平成11年度体育系サークルリーダー研修会を実施した。

この研修会は、体育系サークルリーダーの資質の向上を図ることを目的とし、毎年実施しているもので、当日は、各サークル代表、顧問教官、学生部職員等60人余りが参加し、午前は金沢経済大学の平下雅美教授から、「スポーツ熱中症」について講義を受け、午後は、日本赤十字社救急法指導員の池田幸應氏から、「スポーツ事故の救急措置」について実技指導を受けた。参加した学生は、リーダーとしての



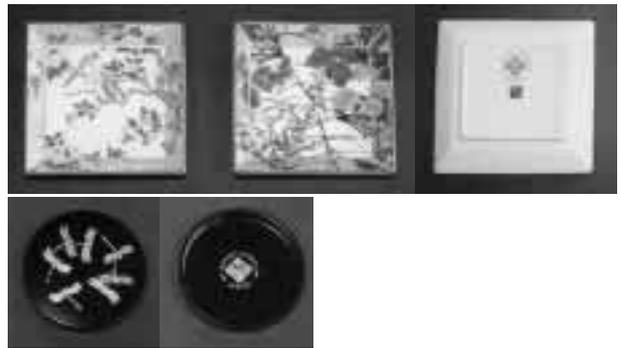
応急処置としての人工呼吸を練習するサークルリーダーら
= 3月9日、学生会館大ホールで

の自覚を再認識し、研修会を終了した。

学章をロゴ化

本学はこのほど記念品に使う“ロゴマーク”を設定した。

意匠は、学章を中心に据え、新制大学として創設された1949年と本学の起源とされる医学部の前身の種痘所が創設された1862年、校名を漢字と英文で併記し、それぞれを円周に配置した。外国からの訪問者や表彰の際の銘々皿や朱肉入れなどにさっそく使用されている。受け取った人から好評を博している。



平成12年度の研修実施計画決まる

研修の名称	対象者	実施時期(期間)	備 考
学内研修			
新規採用者研修	事務職員(新規採用者)	4月(2週間)	
庶務・会計・学生系事務総合研修	事務職員	6月頃(各系2日間)	・新規
専門職員・係長研修	専門職員・係長	8月頃(2日間)	・新規
学生事務職員研修	学生系事務職員	10月頃(3日間)	・新規
パソコン研修	事務職員・教室技術職員(非常勤職員含む)	11月頃(3日間)	
ホームページ研修	事務職員・教室技術職員(非常勤職員含む)	11月頃(5日間)	
新規採用者オリエンテーション	事務職員・教室技術職員(新規採用者)	通年(1日間)	・随時実施
語学要員養成研修	事務職員・教室技術職員	通年(3-6月間)	・英語初級・中級・上級、その他の外国語、英語文書作成の6コースを実施
自己啓発研修	事務職員・教室技術職員(非常勤職員含む)	通年(3月間)	・放送大学等の授業科目を利用
学外研修			
教室系技術職員研修	教室技術職員	9月頃(2日間)	[石川地区]実施機関:金沢大学
会計事務職員研修	会計系事務職員	10月頃(3日間)	[石川地区]実施機関:金沢大学
初任者研修	事務職員・教室技術職員(新規採用者)	5月(4日間)	[北陸地区]実施機関:金沢大学
監督者研修(新任係長)	専門職員・係長(新任者)	7月及び10月(4日間)	[北陸地区]実施機関:福井医科大学・北陸先端科学技術大学院大学
人事事務研修	人事系事務職員	10月(3日間)	[北陸地区]実施機関:富山大学
技術専門職員研修(電気電子)	技術専門職員	7月(4日間)	[東海・北陸地区]実施機関:金沢大学(文部省との共催)
“(機械)”	“(機械)”	7月(4日間)	[東海・北陸地区]実施機関:富山大学(文部省との共催)
事務情報化担当職員研修(クライアント)	情報処理事務担当職員	9月頃(5日間)	[東海・北陸地区]実施機関:京都大学(文部省との共催) 12年度は、近畿地区と合同で実施
教室系技術職員合同研修(情報処理)	教室技術職員	9月頃(3日間)	[東海・北陸地区]実施機関:岐阜大学
“(生物)”	“(生物)”	9月頃(3日間)	[東海・北陸地区]実施機関:岡崎国立共同研究機構
“(化学)”	“(化学)”	9月頃(3日間)	[東海・北陸地区]実施機関:名古屋大学
係長研修	専門職員・係長	10月(4日間)	[東海・北陸地区]実施機関:金沢大学(文部省との共催)
会計職員研修	会計系事務職員	10月頃(5日間)	[東海・北陸地区]実施機関:浜松医科大学(文部省との共催)
国際交流事務担当職員研修	国際交流事務担当職員	11月頃(3日間)	[東海・北陸地区]実施機関:金沢大学(文部省との共催)
厚生補導職員研修会	学生系事務職員	11月頃(3日間)	[東海・北陸地区]実施機関:愛知教育大学(文部省との共催)
説明会			
研究協力制度等教官説明会	新任教官(参加希望教官含む)	未定(1日間)	・服務、教員倫理及びセクハラ防止に関する説明を含む。
日本学術会議国際交流事業説明会	教官、大学院生及び事務職員	未定	
医学部附属病院新規採用者オリエンテーション	新任職員(医学部附属病院に所属する者)	4月(3日間)	・服務及びセクハラ防止に関する説明を含む。
医学部附属病院医員研修(医員オリエンテーション)	医員(研修医)医学部附属病院に採用予定の者)	4月(2日間)	・服務及びセクハラ防止に関する説明を含む。

[注]1 自己啓発講演会及び服務・倫理・セクハラ防止研修については、上記の研修・説明会(一部)の1コマとして実施する。

[注]2 事務情報化担当職員研修(パソコン指導者)は中止(文部省の都合により、12年度は中止となった。)

[注]3 上記の研修には、文部省、人事院及び大蔵省等が実施するものは含まれていません。



新任部局長等の紹介

平成12年4月、以下の方々が新しい部局長等に就任した。(敬称略)

顔写真横の記載は、上から生年月日・任期・所属の順

<p>副学長 (研究・環境担当)</p> <p>はなおか みよじ 花岡 美代次</p>  <p>昭12.25 12.4.1 ~ 14.3.31 薬学部・ 医薬品化学講座</p>	<p>副学長 (教育担当)</p> <p>はた やすじ 畑 安次</p>  <p>昭20.4.3 12.4.1 ~ 14.3.31 法学部・ 公法講座</p>	<p>副学長 (学術情報担当) (附属図書館長)</p> <p>わだ けいしろう 和田 敬四郎</p>  <p>昭14.1.22 12.4.1 ~ 14.3.31 理学部・ 生命機構講座</p>	<p>教育学部長</p> <p>すぎもと みきひろ 杉本 幹博</p>  <p>昭18.7.6 12.4.1 ~ 14.3.31 教育学部・ 理科教育講座 (地理学)</p>
<p>法学部長</p> <p>なかじま ふみお 中島 史雄</p>  <p>昭15.10.12 12.4.1 ~ 14.3.31 法学部・ 民事法講座</p>	<p>経済学部長</p> <p>こばやし あきら 小林 昭</p>  <p>昭16.2.16 12.4.1 ~ 14.3.31 経済学部・ 応用経済学講座</p>	<p>医学部附属病院長</p> <p>わさき かずお 河崎 一夫</p>  <p>昭11.10.7 12.4.1 ~ 14.3.31 医学部・ 眼科学講座</p>	<p>社会環境科学 研究科長</p> <p>かの かつひこ 鹿野 勝彦</p>  <p>昭17.9.30 12.4.1 ~ 14.3.31 文学部・ 文化人類学講座</p>
<p>総合情報処理 センター長</p> <p>ながの いさむ 長野 勇</p>  <p>昭19.5.10 12.4.1 ~ 14.3.31 工学部・ 情報伝送講座</p>	<p>共同研究センター長</p> <p>ひろせ ゆきお 廣瀬 幸雄</p>  <p>昭15.11.30 12.4.1 ~ 14.3.31 理学部・ 計算機実験学 講座</p>	<p>外国語教育研究 センター長</p> <p>さんばい りゅういち 三盃 隆一</p>  <p>昭16.5.27 12.4.1 ~ 14.3.31 外国語教育 研究センター</p>	<p>埋蔵文化財調査 センター長</p> <p>ごみ たけおみ 五味 武臣</p>  <p>昭20.8.18 12.4.1 ~ 13.3.31 教育学部・ 社会科教育講座 (地理学)</p>

このほかに、文学部長に土屋純一(任期：12.4.1 ~ 14.3.31)、理学部長に樋渡保秋(任期：12.4.1 ~ 14.3.31)の各氏が再任された。

編集後記

暖かい日が続くようになってきました。

4月3日、教職員の人事異動の辞令伝達、4月7日の入学式を終えて、新年度・平成12年度がスタートしました。4月は例年、あわただしいものですが、特に本年度は、事務組織の見直しにより、新たな課・室の設置、それに伴う職員の配置、既存の課、室、学部事務部の組織・業務の見直し、職員の配置等々があり、より一層のあわただしさがあります。

そのような中でも健康に留意し、業務も適切に処理し、

一步一步着実に、目標に向けて前進したいものです。

新設組織の一つ、企画広報室で扱うこととなった「アカンサス・ニュース」についても、新メンバーによる企画・紙面づくりに興味がわき、発刊が楽しみです。今後とも皆様に愛読される広報誌づくりに邁進してほしいと思います。

Eメール全盛の中でも、写真とともにお知らせしている本学のニュースに関心を持っていただきますようお願いいたします。(吉田)



ヤッターアア! 学部合格者は1,502人!

3月9日、“平成12年度入試前期日程”の合格発表が、角間キャンパスで行われ、8学部計1,502人が合格した。



雪の中、合格を確認のために集まったたくさんの人



ガッツポーズで喜ぶ!

新学位記について

平成11年度3月期授与分から、学位記が電算出力によるA4版となり、そのホルダーが全面クロス張りとなった。

スタイリッシュな新学位記を手にした卒業・修了者には、好評であった。

写真は新学位記とホルダー(学士：青，修士：紺，博士：えんじ，専攻科・別科修了証書：緑)



おつかれさま!
中村事務局長



卒業式スナップ



平成12年4月21日発行
(原則として毎月1回第3週に発行)

〒920-1192 金沢市角間町
金沢大学総務部企画広報室情報公開係

TEL 076-264-6136
FAX 076-234-4015

本紙の内容、その他本学に関する諸情報については、「金沢大学ホームページ 愛称“KUPIS”(キューピース)」
(アドレス = <http://www.kanazawa-u.ac.jp>) でもご覧いただけます。
本紙に関する御意見・御要望などは、電子メール(E-mail) = general1@kenroku.kanazawa-u.ac.jp でも受け付けています。

